

ハンディウッドのメンテナンス

お手入れ方法

表面に付着した汚れやシミは早めに洗浄してください。長時間放置すると、汚れが残る原因になります。

お手入れ道具：ほうき（掃除機）、デッキブラシ、中性洗剤

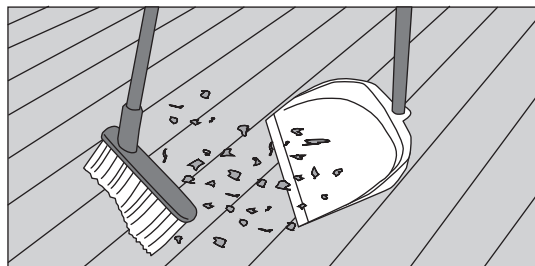
1. ゴミの除去

ほうきやブラシで表面のゴミを取り除きます。

2. シミ・汚れの除去

シミなどの汚れがある場合は中性洗剤を含ませたデッキブラシでブラシ掛けしてください。

ハンディウッド表面の溝方向に沿ってブラシ掛けすると汚れが落ちやすくなります。



3. 水洗い

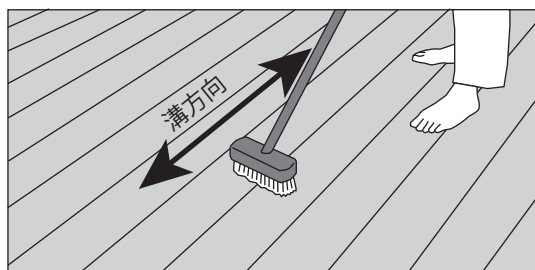
最後にきれいな水で表面をブラシ掛けしてください。

中性洗剤がハンディウッド表面に残らないようにするためと、落した汚れが再度つくことのないようにするためです。

● 高圧洗浄機使用時のご注意

高圧洗浄機を使用する場合は、付属の取扱説明書に従って長手方向に噴射し、最後に水を拭き取ってください。

噴射時は高圧洗浄機のノズルを部材に近づけすぎないでください。表面が削れてしまい、ムラ等が発生する原因となりますので十分ご注意ください。

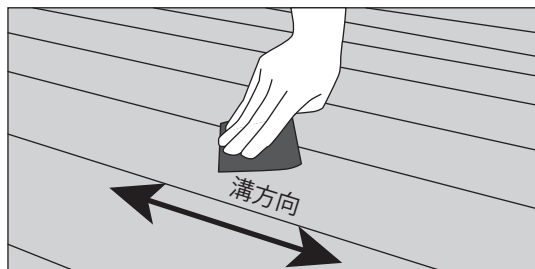


傷や焦げ目の補修

お手入れ道具：サンドペーパー（＃40程度）

傷や焦げ目、中性洗剤で落ちない汚れはサンドペーパーで汚れの部分をこすることで目立たなくなります。

デッキの溝方向に向かってサンドペーパー掛けすると、補修あとが目立ちにくくなります。



設計上の注意

- ハンディウッドは熱により若干伸縮します。用途に合わせた固定方法により目地幅を確保してください。（デッキ：5mm以上、ルーバー：10mm以上）
- デッキの根太スパン、ルーバーの支持スパン等、規定の設計寸法を守ってください。
- ハンディウッドの固定はビス又はボルトナット（指定品）をご使用ください。釘や接着剤による固定はできません。

施工上の注意

- ハンディウッドは立てかけたまま保管せず、平積みとしてください。輪木は300mm程度のピッチで敷いて下さい。
- ハンディウッドは伸縮を考慮し、定尺（呼び寸）より若干長めにラフカットされています。両端部は直角になっていないため、施工前に片側端部を垂直にカットして垂直補正してから寸法取りしてください。
- ビス等の締め付け部品（指定品）は規定本数を使い、十分な締め付けを行ってください。不十分な場合は思わぬ事故につながります。また、ビス止め位置は規定の寸法を守ってください。（木口・側面から20mm以上）

使用上の注意

- ハンディウッドはリサイクル材を使用しているため、材料によって色のばらつきがあったり表面に多少の他物質の混入が見られることがありますが品質には問題ありません。
- 本製品に火気を近づけると火災の恐れがあり大変危険ですので絶対に避けてください。また、変形の恐れがありますので本製品の周辺で火を燃やしたり加熱したりしないでください。
- 表面の研磨屑により、色移りする場合があります。
- 本製品の上に重量物を置く場合は荷重が分散するよう敷板などをご使用ください。
- 製品に強い衝撃を与えたり、乱暴に扱ったりすると破損の恐れがあります。目的以外の用途での使用はおやめください。
- 製品に灯油やガソリン等の有機溶剤が付着した場合は変色、変形の要因となりますのですぐにふき取ってください。
- 長時間直射日光等を受ける場所に設置したものは、紫外線により多少の退色が見られる場合があります。
- 日差しが強いときはハンディウッドの表面温度が上昇します。素足で歩く際はご注意ください。
- 埃やゴミ等の付着により、もらいカビが発生する事があります。
- ハンディウッドはほとんど吸水しないため、部材によって降雨時などに表面に水たまりができる場合があります。水たまりの大きさの違いにより、部材ごとの乾燥時間に差が生じる場合がありますのでご了承ください。